

# がん化学療法看護認定看護師の役割と活動紹介

## がん化学療法看護認定看護師は何ができるナース？

がん化学療法看護は、がんと診断され、抗がん薬治療が治療の選択肢の一つとなった患者・家族が平生の日常生活や社会生活を送りながら、抗がん薬治療を継続できるよう、その人にとっての Quality of Life の維持・向上に努めます。

インフォームド・コンセントを受け、抗がん薬治療の実施前、実施中、その後のフォローアップという一連の経過を看護します。そのなかで、患者・家族に対する直接的なケアやがん化学療法看護に携わるスタッフの相談を受け指導に努めます。また、抗がん薬という毒性の強い薬物を取り扱う際に、看護師自身への曝露予防や薬物に関する専門的な知識・技術を提供します。



谷本 知華子 (2009年資格取得)



米山 香世 (2012年資格取得)

がんの病状や治療方針を医師が説明する場に同席して、患者さんやご家族が正しく理解されたかを確認しています。不安や疑問に対しては分かりやすい言葉で説明し、必要な支援を提供します。

### 院内での活動内容

CV ポートの穿刺手技指導や管理  
コンサルテーション、院内講習会  
ケモナース通信の発行

### 院外での活動内容

2011年～旭川がん化学療法看護研究会の運営  
2011年 2012年北海道看護協会主催「抗がん剤の曝露予防」シンポジスト・講師  
2013年外部講師「抗がん剤投与の基礎知識」  
2013年日本看護倫理学会発表（筆頭研究者）  
2013年日本医療マネジメント学会地方会（筆頭）  
2014年日本看護倫理学会発表（共同研究者）  
2015年日本看護倫理学会発表（筆頭）  
2018年日本緩和医療学会第1回北海道（筆頭）  
2019年外部講師「曝露予防・血管外漏出予防・CVポート管理」

化学療法を受けられる患者さんが、安心して治療にのぞめるよう、安全な投与と患者さんのセルフケア向上をめざしたケアの提供に努めています。また、看護スタッフへの指導や勉強会を行うことで、化学療法看護の充実をはかっています。

### <主な活動内容>

- 副作用のマネジメントおよびセルフケア指導
- 治療開始や変更時における意思決定支援
- 投与管理に関するスタッフ指導  
（血管外漏出対策、CVポート管理、曝露防止対策、レジメンや新薬に関する講習など）
- コンサルテーション
- 院内講習会
- 多職種との連携

